

細江カトリック教会だより 新年号

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294 ☎083-222-0970

広島教区テーマ；平和の使徒となろう

チャレンジ新しい福音宣教 ～わたしをお使いください～

—家庭へのチャレンジ—

ゴアで年明け！

皆さん、遅くなりましたが、明けましておめでとうございます！新しい希望を持って2016年がやってきました。ことしも皆さんにとって、また世界のすべての人々にとって、神様の恵みと憐れみに満ちた一年となりますように祈っていきたいと思います。

さて、私にとっても、今年の年明けは様々な面で新しさと神様の豊かな恵みを感じた年明けとなりました。まず9年ぶりに自国での年越しを過ごすことができたのはその一つですが、年明けの1月1日のミサはフランススコ・ザビエルのご遺体が安置されているゴアのボン・ジェズ教会であずかることができたのは何よりです。巡礼でこの教会に来たのは今回で3回目ですが、偉大な宣教師でありイエズス会の先輩でもあるザビエルのぬくもりがあるこの場所で時間を少し取り、お祈りを捧げることによって、今回も心が温まりました。あふれる観光客の中でも、ザビエルのご遺体が安置されている祭壇を囲んで、世界中からの巡礼者たちと一緒に祈りの時間を過ごしたことが、忘れられない体験となりました。

教会のすぐ隣に保持されている昔ながらのイエズス会の修道院と博物館を見ることによって、当時の宣教師たちの活動や生き方などを知ることができ

ます。1605年に建てられたこのボン・ジェズ教会は、2006年に世界遺産に登録され、現代は世界中からの巡礼者や観光客が訪れるようになっています。

今回の旅の中でゴア以外にもたくさんの教会を訪れて祈ることができました。ゴア州から600キロ南にあるケララ州でも、キリスト教が昔から根づいていて伝統的な巡礼地や教会がたくさん立ち並んでいます。今回の旅で高校生の友達が二人一緒にいましたが、二人とも「どこに行っても教会が見られますね！」と言い、仏教やヒンズ教の国として知られているインドにもキリスト教徒が多くいることに驚きを感じていました。

今回の旅の主な目的は一緒にいた高校生二人と現地の高校生との交流プログラムでした。二人はケララ州にある私の地元に近いイエズス会の高校の生徒さんと交流の時間を過ごし、また当学校の生徒の家でホームステイをする機会もありました。違う

文化や食事に慣れるのに時間がかかったと思いますが、日本からの高校生の二人にとっても貴重な経験となり、また現地の高校生たちにとっても同年齢の外国の学生さんとの触れ合いの機会ともなったと思います。

そのほかに個人的なことですが、新年には自分の家族の中にも重要な出来事があり、

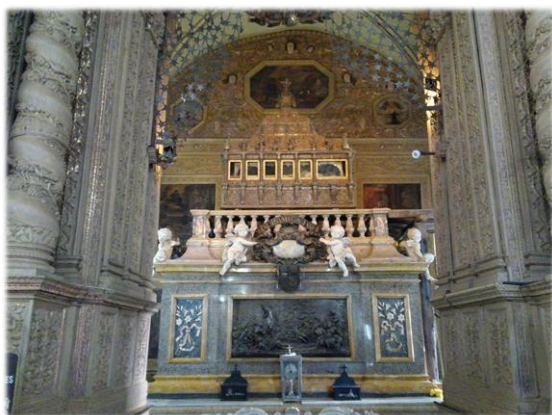


自分もそれに参加できたということでした。兄弟の一番下の弟の結婚式に立ち会うことができ、またわずかな時間でしたが家族と一緒に過ごすこともできました。こうやって色々な形で2016年の始まりはかけがえない様々な経験があり、神様の恵みをたくさんいただいた年明けとなりました。

皆さんに今年も神様の恵みがたくさん注がれますようお祈りします。

今年もよろしく願いいたします。

ボニー神父



★ザビエルの遺骸が安置されている

ボン・ジェズ教会

シリーズ 地区だよりIX

私は産まれてすぐに洗礼を受けさせていただいた為、そのありがたみをあまり感じていませんでした。小学生の頃は日曜日の度に教会に行く事、暑い日も寒い日も御ミサを受ける事が嫌で、友達と遊びたくて仕方ありませんでした。クリスマスになると学校の友達はプレゼントに期待を膨らませてワクワクしている中、「夜遅くまで寒い中、ミサを受けるのは嫌だなー。」とか考えていました。

そんな私も大人となり結婚して子どもたちを授かり、少しずつですが信仰心が深くなっていると感じています。そして今、子どもたちも昔の私と同じ様に感じているのでしょう。

家の中では食事前に食前の祈りを行っていますが、普段の挨拶「おはよう」と同じ

感覚でお祈りがでてくる様になったら一歩前進だと考えています。たとえ今は意味の分からない言葉だとしても！「ちちとことせいいいのみなによってあーめん」

北部地区 糸永 和樹



待降節黙想会 12/13 (日)

講師 ジェームス・ボニー神父

第1講座 降誕節の意味。キリストの神性と人性について。

第2講座 降誕節の意味を持って何をするか、ミッションは。



新しい道を

黙想会、ミサ、ホールで食事。

「帰ろうと思ったけれど、上手に誘導され」隣の人はゆるしの秘跡をうけることにしたと。

「今ときめいているのは」とさし向かいの人たち。「それは杉原千畝」。

近藤麻理恵の人生がときめく片づけの魔法に倣って「ときめきのあるものだけを残す」を実践中。

ときめかないもの（怒り、憎しみなど）を捨てていくことによって心の整理が促され自分を変えていくことになる。

救い主が現れる。その名はインマヌエル（主は我々とともに）と呼ばれるという預言。この「我々とともに」が1世紀から7世紀の間「人性」「神性」の論争を呼び、仮現説、養子説などがうまれた。一番古いニケア使徒信条が、主は御父より生まれ、まことの神よりのまことの神、と異端へ答え

ている。

しかし、罪以外において人間と同じことを全部経験した神が大罪を犯した人しか行かない陰府（よみ）に下るのはなぜか。神は罪がないのに罪の結果を経験した故、ゆるすことができるのである。すでに十字架上の贖いによってゆるしの大きな恵みの仕組みは出来ており、キリストに代わって司祭は恵みの泉から汲み取って「ゆるし」を与えていると説かれた。

神父様の故郷の黙想会出席者全員がゆるしの秘跡をうけたという頭蓋骨の話に皆笑った。

ご降誕のお祝に駆けつけた博士たちは行った道と違う道を帰っていった。羊飼いたちは救い主が生まれたことを知らせる最初の宣教師になった。

私たちはイエスに出会ったら前の道を捨てて別の道を歩けるか、それを伝えていけるか。問われている。

ゆるしの秘跡をうけ、ときめきコーナーで心の整理をし、新しい道を歩みたい。

菊野 佐智子



クリスマス 12/24 夜半のミサ

＊暗闇から光へ・・・幼子イエスの誕生！

夜の静けさの中で「しずけき まよなか・・・」の歌声が響きわたる聖夜。



＊天使たちは幼子へ花束を捧げる。



＊百瀬神父さまから祝福を受ける天使たち。



＊初聖体

「ごせいたいをもらうときまえにできるとき、はずかしかったです。でも もらうとイエスさまがこころにはいったから、うれしかったです。シスターないとうがべんきょうをおしえてくれてうれしかったです。ありがとうございます。」

弓長 司

ちょっと一息 POEM

初恋・2

天国の兄貴、居心地はいかが？
私、今頃になって一緒に居た頃を
思い出すよ。

「原爆ぜったい反対」と、
祈るように言っていたね
そんな正義感あふれたところに
私の心の痛むげんいんだったかな？

秘かに・・・思っていた私を
最期に片思いを見破ってくれて
兄貴、ほんとうにありがとう。

本町地区
藤本 幸枝

2016年 さる年の方々の抱負

＊新しい年を迎えて＊

「いつくしみ深く御父のように」と言えば、典礼聖歌で歌っている「いつくしみと愛があれば 神は そこに共にいる」・・・という箇所を思い出します。

「いつくしみの特別聖年」のロゴの説明を読みますと、現在の世界の姿・戦争・暴力・テロ・多くの難民が救いを求めている「いつくしみと愛」が注がれる恵みを願っている事に気づかされます。

神さまは、独り子（キリスト）をお与えになったほど世を愛して下さいました。聖書の一句に心を留める事ができます。幼子イエス・キリストは神さまから贈られた、クリスマスプレゼントです。クリスマスは、幼子イエス・キリストに出会い、新たにその愛を味わうよい機会だともおもいます。天使幼稚園の子どもたちも白いドレスを着て百瀬神父さまと共に心を合わせ、ミサに於いて待者をつとめ祈った事は親子共々生涯忘れる事の出来ない 喜びに満たされたクリスマスの夜では なかったでしょうか？

又、闇の世界にいる人々を救ったマザーテレサは、「御父のいつくしみ深い 愛の神秘」にあずかり 素晴らしい奉仕・心を捧げた生涯でした。

祈りの中で

- ・いつくしみと愛が あなたの顔にも まなざしにも
 - ・子どもたちにも 貧しい人たちにも 身も心も悩む人たちにも
 - ・明るいほほえみを いつもたやさないでください
 - ・あなたのところを 人に捧げてください
- インドの貧しい人たちの共同体の中で働いたマザーテレサの「信仰の生き方」その

ものではないでしょうか・・・世界の平和を願いつつ「愛に生きる」ことを学びました

「神のいつくしみの聖なる年」が主の恵みに満ちた一年となりますようお祈りいたします。

後田地区 吉本 サチ子



＊新年の抱負＊

あっという間に一年が終わり、また新しい年を迎えました。「あれもしないといけない。これもしないといけない。」と、ジタバタしている間に大切な時間を費やしてしまっていたと感じます。そういえば、最近「新年の抱負」というものを立てたことがありますませんでした。「大切な時間」は、自分で作ろうとしなければ、生まれませんよね。大切な時間を有効に使うために、今年は新年の抱負を立てたいと思います。

今年の新年の抱負は「何事も後回しにしない。」に決めました。一つ一つ確実にクリアしていくことで、時間を有効活用していこうと思います。でもきっと、意志の弱い私は、ついつい後回しにしまいそうになると思います。そんな時には、「神よ、共にいて、導いて下さい。」と祈りながら、この一年を過ごしていけたらと思います。

新地筋川地区 小濱 ゆかり

おわび

＊多数の原稿をいただきましたが紙面の関係で次号に掲載させていただきます。

お知らせ

＊キリスト教入門講座＊

1月9日、23日、30日

(10:30～12:00) カトリックセンター

＊1月22日(金) 10:00～

キリスト教一致祈祷集会(細江教会聖堂)